

地域実態

- ・恵まれた自然環境
- ・学校への協力体制の確立
- ・家庭・地域の教育力の高さ

児童実態

- ・明るく素直
- ・基本的生活習慣が確立
- ・自立する力の不足

社会情勢

- ・価値観の多様化
- ・格差（経済・教育）
- ・不安と先行きの不透明感

京都市・学校教育の重点

- 伝統と文化を受け継ぎ、時代と自らの未来を切り拓く子ども
- ・つきたい力を明確にした「言語活動」
- ・自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」

学校教育目標

こころ豊かで たくましく生きる子どもを育てる
～やさしく・かしこく・たくましく～

経営方針

～やさしさに満ちた学校を創る～
スクールスローガン
「期待の登校・満足の下校」
☆やさしさいっぱい 北醍醐

- ☆学校運営協議会の果たす役割
評価の共有と分析
よりよい学校作り
地域との効果的連携の推進

校内研究の充実：算数科
＜研究主題＞
筋道立てて考え、表現力を高める
授業展開の工夫
～子どもの思考を促す算数的活動の工夫～

- ＜研究の重点＞
- ・効果的な算数的活動による数学的な思考力・表現力の育成を求め、授業実践する。
- ・「算数科における言語活動」を充実させる算数的活動の在り方の検討をする。

人権教育の充実

- ＜目標＞
- ・子どもの自尊感情を高め、自分も人も大切に捉え、共に生きていこうとする態度を育てる。
- ・ものごとを正しく見つめ、正しく判断し、行動する子どもを育てる。

＜基本認識の育成＞

- ・児童の人権尊重の学習を単なる理解だけにとどめず、生活の中での実践化を目指し、一人一人に届くていねいな指導を積み重ねる。
- ・日々の取組・人権月間等での全校的な取組・保護者啓発等を通して地域、保護者との意識の共有化を図る。

＜人権感覚の育成＞

- ・生徒指導を通して人権の価値や重要性を感受できる感性を育成する。
- ★教育活動全体を通じて日常のあらゆる場面において恒常的かつ継続的に人権教育を行う。

＜目指す子ども像＞

自分も人も大切にできる子ども
自ら学び、自ら考え、自ら行動する子ども
自己表現のできる子ども

＜目指す教職員像＞

- “チーム北醍醐” 共通実践する教職員 ～攻める～
- ・役割と責任を認識し、各立場から確実に行動化
- ・子どもの多面的な育ちを保障する
- 主体的に資質向上を目指す
- 子どもの個性や良さを認め、伸ばし、生きる力を育てる
- 子どもの健康・安全に気を配り、保持増進を進める

教職員評価システムの活用

- ・意識改革・教育目標の具現化（学級経営 自己目標の設定）
- ・PDCAサイクルによる検証・改善⇒より良き実践

学年目標 学級経営案

おなぞ学級：共に学び 共に遊び みんななかよし

1年：たねからはなへ なかよく かしこい1年生

2年：やさしく 力を合わせる スマイル2年生

3年：やさしさいっぱいみんななかよしがんばる3年生

4年：人にやさしく自分にきびしくやるときはやる4年

5年1組：勉強をがんばり 笑顔で協力し合い信頼される5年1組

5年2組：一人一人が輝き 助け合うやさしいウラス ～自分からていねいにスピーディ

6年：挑む“6年生” 最高学年として協力し合い力を合わせて31

校内研修の充実

- ＜目標＞
- 教職員の資質の向上を目指し、研修を明日の教育に還す
- ・学校教育目標の具現化に向けて、目的の明確な立案、現状を見据えた新たな提示・提案
- ・質の高い研修：最新の情報に基づく内容・時間の管理

教育改革

北醍醐スマイルプラン
やさしさいっぱい 北醍醐

★ぐんぐんプラン

＜確かな学力の育成＞

- 一人一人を大切に捉え、個性を生かした学習課題を設定し、個々の学習のニーズに対応した指導の充実を図る。
- ・校内組織の再構築
- ・指導体制の再構築
- ・週時程の改善
- ・授業改善
- ・家庭学習との連動

★いきいきプラン

＜豊かな心の育成＞

- 感性を育み、感謝する心、共感する心、豊かな心を育てる
- ・道徳教育の推進
- ・人権教育の深化
- ・生徒指導の徹底
- ・読書指導の充実

★のびのびプラン

＜健やかな体の育成＞

- 命を大切にする子の育成
- ・継続は力の取組
- ・食育の推進
- ・健康安全教育の推進
- ・放課後の居場所の充実

道徳教育の充実

- ＜目標＞
- 感性豊かなやさしい心を持ち、よく考えて行動する子ども
- ・全体計画・指導計画を整備し、指導の充実を図る。
- ・各教科における道徳教育の重点を挙げ実践していく。
- ・特別活動における望ましい集団活動を通して、自主的・実践的な態度を育てる。
- ・心が育つ場として、学校行事等における道徳教育のねらいを明確にし、共通理解を図る。

重点項目に対する取組

基本指針を受けた取組

つけたい力を明確にした「言語活動」	自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」	授業改善	理数教育の推進	豊かな感性・情操を育む教育の充実	LD等支援の必要な子どもの学力向上・教育相談の充実	小中一貫教育の推進	安全教育・健康教育・スポーツ活動の充実
言葉で捉え、言葉で考え、言葉で表現する力を全教育活動で意図的に培う ・記録・要約・説明・論述等の活動の各教科での充実 ・北醍醐モデルの作成 ・読書活動の充実 ・外国語活動の充実：SSとの連携指導による外国語活動の充実	学習規律の徹底 ・授業の始めと終わりの挨拶 ・学力向上チームの能動的実践・検証 ・あいさつと清掃と言葉使いを特化(児童会を巻き込む) ・「道徳的実践力の育成」をよりつよくした道徳教育の充実 ・たてわり活動の積極的推進	学校は学ぶ場であると捉え、一人一人のニーズに応じた質の高い授業を提供する。 ・一人一授業公開による授業力アップ ・全学年複数指導体制の構築 ・習得と活用が両輪をなす授業の構築 ・外部講師を招聘した授業研究会を増加 ・相互研鑽し合う教職員の育成指導	学習の基礎基本といわれる知識技能の確実な習得を目指して、活動の多様化、操作活動の重視を図り、科学的視野を広げ、関心を高める ・算数科・理科にT T配置 ・算数科における指導形態の工夫。改善 ・ICT機器の活用	環境を守っていく実践的な態度を育てる ・エコライフ学習 ・緑のカーテン事業の発展 地域人材を活用した体験活度の重視 ・なかよし会 ・読み聞かせボランティアによる読書支援 ・グラウンドゴルフ練習会での地域指導者との連続した交流	子どもの抱える困りや、障害を正しく理解し、特性に基づいた適切な指導を進める ・個別の指導計画の作成 ・育成学級の弾力的活用 ・関係機関との連携の推進	9年間の学びを一貫として捉え、醍醐中ブロックの小中3校が、児童・生徒の学力向上、進路保障、社会人として自立する姿を共有して連携指導する。 ・授業交流 ・合同研修会 ・情報交換 ・児童・生徒の交流 ・中学校生活体験学習	主体的に生命を守り、健全な心身を培おうとする子を育てる ・関係機関と連携した避難訓練、防災訓練、自転車安全教室の実施 ・朝ランニングの毎日実施（4・5・6年生全員対象） ・食育の推進 ・全教員が分担する部活動指導